

名寄市立総合病院

病院データ



住所	〒096-8511 名寄市西7条南8丁目1番地
URL	http://www.nayoroch.jp/
連絡先(窓口)	事務部総務課職員係 01654-3-3101 (代表) 内線2213 ny-hosp@city.nayoro.lg.jp
病床数	359床
専門研修指導医数	1人
臨床研修指導医数	25人
外来患者数	847.6人/日※令和4年度(2022年度)実績
入院患者数	226.4人/日※令和4年度(2022年度)実績
標榜科	内科、循環器内科、呼吸器内科、神経内科、消化器内科、糖尿病・代謝内科、小児科、外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、心療内科、精神科、放射線科、麻酔科、救急科
給与(月額)	47万円
処遇	各種手当有
サブスペシャルティ	家庭医療専門医

総合診療専門研修プログラム

当院は上川北部から宗谷圏域といった広範囲な医療圏を対象とする三次医療圏の地方センター病院です。総合内科外来は、臓器別ではない一般内科的疾患に対する研修が可能であることが特徴です。また、連携施設では総合診療専門研修Ⅰの研修が可能です。

〔連携施設〕

【大学病院】旭川医科大学病院 【病院】旭川医療センター／市立旭川病院／浜頓別町国民健康保険病院

【診療所】幌加内町立幌加内診療所／名寄市風連国民健康保険診療所

院長から

名寄市立総合病院は、救命救急センターを有する道北三次医療圏の地方センター病院であり、旭川以北の南北約200km・東西約100kmの広域な医療圏をカバーしています。

したがって、様々な疾患を診ることになり、かかりつけ医的な一次医療から三次医療まで、幅広く北北海道の医療を担当するばかりでなく、この広い医療圏の医師不足地域への診療応援も行っており、後期研修、専門研修に十分貢献できるものと思っております。



院長 眞岸 克明

統括診療部長から



統括診療部長
森田 一豊

内科、外科はもとより、脳神経外科、精神科も擁する総合病院です。

臓器別ではない総合診療科は初診患者外来を担当しています。入院は臓器別内科では扱わない虚弱老人などの患者を担当しています。患者の希望により在宅看取りも対応します。

協力病院は浜頓別国保病院、幌加内診療所、風連国民健康保険診療所で、総合診療Ⅰの研修を行います。総合診療Ⅱは、整形外科や泌尿器科、皮膚科など総合病院ならではの科を選択することが可能です。



ローテーション例

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 年 目	施設名	名寄市立総合病院							連携施設病院				名寄市立総合病院
	領域	内科							総診Ⅱ				内科
2 年 目	施設名	名寄市立総合病院											
	領域	総診Ⅱ						小児科			救急		
3 年 目	施設名	浜頓別国保病院			幌加内診療所			風連国保診療所					
	領域	総診Ⅰ			総診Ⅰ			総診Ⅰ					

救急科、小児科があり、院内にて研修可能です。

内科については、循環器、消化器、糖尿病、呼吸器があります。血液内科や神経内科については他の病院に出向して研修できます。

総合診療Ⅰについては協力病院にて行いますが、新家庭医療専門医の取得を希望する専攻医にあっては当院近くの診療所にて研修を行い、12カ月の長期にわたるブロック研修を切れ目なく行うことが可能です。

施設所在地の概要

名寄市の概要

名寄市は、北・北海道の天塩川が形成する名寄盆地のほぼ中央に位置し、東は雄武町・下川町、西は幌加内町、南は士別市、北は美深町と接しています。

地域の特徴

日本海型で内陸部に属している名寄は、夏冬の寒暖の差が60度以上と大きく、5月から10月にかけては比較的高温多照で、降雨量も全道平均を下回っています。

交通アクセス

JR名寄駅から、徒歩約10分、バス利用約7分、タクシー利用約3分ほどの距離にあります。

JR旭川駅から、車で約1時間30分、旭川空港より、車で約2時間ほどの距離にあります。

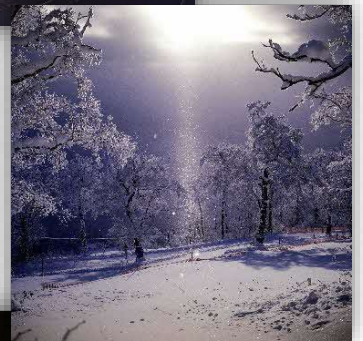
JR札幌駅から、高速道路利用の車で約3時間ほどの距離にあります。

当院の特徴

当院は救急を含む地域医療、一部は三次医療まで可能な総合医療機関です。患者の希望があれば在宅看取りも行っており、総合診療という自由度の高い領域を自分のやる気や興味によって工夫できる要素が多い病院です。

研修終了後

プログラム終了後、スタッフとして残って後進を育てることを期待しています。新家庭医療専門医や病院総合医のプログラムも作成しており、研修可能です。



北の総合診療医 その先の、地域医療へ